

PANEL48

公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

平成 29 年度事業報告

支部役員

各委員会メンバーリスト

支部長あいさつ

総務委員会

研修委員会

青年委員会

企画委員会



平成 29・30 年度神戸支部役員

【支部長】 前川 象二郎

【副支部長】 戎 孝之 久宝 弘幸 佐々木 博司 三島 悦子

【理 事】 荒川 直樹 上野 和彦 湖亀 一登 佐々木 康行

常峰 博文 寺田 みさと 中村 重陽 野口 直人

前田 さえ 榎本 光展 松村 哲也 毛利 康人

【監 事】 鎌谷 正士 赤沢 祥語

【顧 問】 田中 義之

※_____は常任理事

平成 30 年度各委員会メンバー

総務委員会

担当副支部長 久宝 弘幸
委員長 湖亀 一登
副委員長 松村 哲也
委員 赤澤 祥語、大塚 正、三島 悦子

研修委員会

担当副支部長 戎 孝之
委員長 毛利 康人
副委員長 槇本 光展、前田 さえ
委員 上野 和彦、上野 光子、大石 雅俊、芝崎 康子、瀬戸口 茂、
常峰 博文、中居 博喜、藤原 路弘、安水 正、山下 享子、
山本 幸司
オブザーバー 石田 敦、佐々木博司

青年委員会

担当副支部長 三島 悦子
委員長 寺田 みさと
副委員長 中村 重陽、高麗 憲志
委員 谷口 成夫、村上 正一郎、幡谷 道子、石田 志野
相談役 上野 和彦
顧問 佐伯 亮太

企画委員会

担当副支部長 佐々木 博司
委員長 荒川 直樹
副委員長 野口 直人、佐々木 康行
委員 三島 悦子、山口 悟、戎 孝之、湖亀 一登、
中島 健太郎、庄司 純、山口 丈太郎

2018/4/28

(公) 兵庫県建築士会神戸支部
支部長 前川象二郎

会員の皆様方には建築士会活動にご支援をたまわり厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の我々を取り巻く話題はたくさんありました。世界的には、テロの頻発、北朝鮮の脅威、トランプ旋風、ラスベガスの銃乱射事件等々いろいろな事が起こっています。建築にかかわる災害を数え上げると、2016年4月の熊本地震に始まり、同10月の鳥取中部地震、同12月には糸魚川での大規模火災、2017年に入ってから2月にアスクルの巨大倉庫火災、6月にロンドンのタワー火災、今年に入ってから、1月に札幌市の自立支援施設火災、2月に台湾東部・花蓮地震、などなど建築の安全・安心を脅かす災害が発生しています。

その中でも昨年の6月に起こった英国・ロンドンの高層住宅の火災はテレビ等の映像で公開されて衝撃を受けた方も大勢おられると思います。私もその一人で、「鉄筋コンクリートの建物がこんなにも炎に包まれるなんて」、と絶句しておりました。というのは、昔鉄筋コンクリートのマンションの火災現場に遭遇したことがあり、室内は真っ黒こげでしたが、外壁は窓の周りが黒くなっただけで類焼していなかったことが印象的だったからです。鉄筋コンクリートの建物は耐火構造で火災には強い、というのが建築界の常識です。もちろん各層間の隔離距離とかバルコニーとかの規制はありますが、通常の火災ではびくともしない建築物です。話が長くなりますので結論を先に申し上げますと、この高層住宅は1974年の竣工で火災の1年ほど前に改修で、金属系の断熱被覆材で外装を覆う外断熱工事をしていました。これらの断熱材が燃え広がってあっという間に炎の高層ビルと化して何十人の死者を出したのです。

住環境を向上させるための改修が、建物にとってもっと大切な耐火性能をなくしてしまっただけです。これは明らかな人災です。2009年2月に北京、2010年11月に上海、2015年2月にドバイでも高層建物が同様の外断熱工事により全焼している事例もあります。英国ではこのような高層建物が60棟もあるそうです。日本ではまだこういう事例はないようですが、マンションの改修工事が増えてくるにしたがって無いとも限りません。

何事も、新しいことに挑戦することはやぶさかではありませんが、物事の原理原則、基本を忘れて本末転倒にならないように我々建築を生業とするものは細心の注意を払う必要があると思います。

一方で、この4月からは中古住宅の売買取引の際の重要事項説明書に、インスペクション（建物検査）の有・無を記載が義務付けられます。さらに6月からは民泊新法も施行されます。このようないろいろな状況変化に対応するためにも、我々建築士が力を合わせて安全・安心も含めた建物の質の向上に努力する必要があります。

最後になりましたが、建築士会神戸支部では講習会、見学会、セミナー、耐震診断等々いろいろな事業活動を通じて建物の質の向上に寄与するべく努力しておりますので、来年度も今まで以上に皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。

以上

総務委員会

総務委員会では各委員会の事業の調整、年度予算案の作成、会計の他、広報活動としてホームページの運用なども行っています。昨年度は遅まきながらホームページを刷新しスマートフォンやタブレットにも対応した形としました。会員数が少なくなってきましたが、支部事業が円滑に行える様頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

【29年度通常総会】

会場：神戸市産業振興センター



前川支部長挨拶



総会風景

研修委員会

平成 29 年 5 月 10 日

建築士のための実務セミナー報告書

兵庫県建築士会神戸支部 研修委員会

委員長：毛利 康人

担当：安水 正

目 的： 最近において、熊本地震、鳥取地震などで多くの建物が倒壊した。今後も、大きな地震が発生すると予測されている。

そこで、より強く安全な建物をつくるために、建築士の実務知識、技術力の向上が求められる。今回は、耐震診断ソフト業界において、トップリーダーであるホームズ君シリーズでおなじみの(株)インテグラル社の技術者を講師として招き、いかにして地震に強く、安全・快適な家をつくるのか、その技術を学び、今後の実務に生かす。

テ ー マ： 震度 7 に負けない木造住宅「耐震等級 3 のすすめ」

内 容： ● 平成 28 年熊本地震 現地調査報告
● 最低でも耐震等級 3 を目指すべき。そのポイントとは？
● 重要なのは耐力壁線と水平構面の剛性確保。その考え方とは？
● ホームズ君「構造 EX」を使用した耐震等級 3 のクリアポイント
● よくわかる床倍率

講 師： 株式会社インテグラル 専任講師 坂入 徹

場 所： 兵庫県私学会館 101 号室 (60 人部屋)

日 時： 平成 29 年 4 月 6 日 (木) 13:00～17:00

参加人数： 会員 31 名 非会員 1 名 合計 32 名

募集方法： つどい、チラシ、メーリングリスト、ホームページ 等

会 費： 会員は、1,000 円。非会員は、1,500 円

当日の写真：



担当者の感想：

単独セミナーにおいて、久しぶりに盛況であったと思う。やはり、建築士、建築技術者として、実務に直接、結びつく内容であったことが原因であると思う。

アンケート結果により、内容的には、ソフトメーカーによるセミナーであったために、メーカーのPRに傾き、かなり、辛口の評価があり、一長一短があるようだ。ソフトを持っていない者にとっては、役に立たないセミナーであったと感じる人もいるし、逆にソフトメーカーであるゆえに実務がよく解った、もっと実例などを知りたいと思っている人もいる。メーカーによるセミナーのメリット、デメリットが、それぞれ明確に発見できたセミナーであると感じた。

また、これから、建築界をしょって立たなければならない20代、30代の若者の参加が無いというのが、非常に寂しく、不安を感じる。これは、建築士会全体が、高齢化が進んでおり、若者の会員が少ない事により、せつかくの良い情報であっても、その周知ができていないことが原因であると思う。若者にとって、是非、入会したいと思える魅力ある建築士会づくり、情報提供が必要かと思う。これからの建築士会にとって、大きな課題であると思う。

以上

研修委員会

平成29年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

7月8日(土)に毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、京都府の寺社および町並みの中から京都市左京区の国宝や重要文化財を見学し、古事記からの歴史をもつ文化財とその周辺の環境を楽しみました。

神戸市役所北側花時計前からバスで出発しました。新神戸トンネルから山陽道を通って新名神。午前中は、水源の神を御祭神とする貴船神社を見学しました。

総本宮横で貴船神社の由緒やその歴史などを講義して頂きました。

その歴史は古く、敷地も広大で中宮・奥宮まで探索するには時間がたりないくらいです。

本宮社殿前の石垣から溢れ出ている御神水は、弱アルカリ性の良質な天然水で、今までに一度も枯れたことがなく、多くの人々が御神水を汲みに訪れていました。

講義の後には自由行動で、奥宮まで徒歩で参拝に行く方々も多数おりました。

奥宮は貴船神社が創建された地で、船舶関係者等からも尊信が篤い。

貴船神社見学後、鞍馬寺に移動して山門前で昼食をとりました。古民家風の建物で、美味しい精進料理でした。

昼食後、山門前で集合写真を撮影しケーブルに乗って本殿まで移動しました。

本殿で鞍馬山について講義をして頂きました。鞍馬山は源義経(牛若丸)のゆかりの地として有名で、大河ドラマや映画の関係者も参拝に訪れるとの事でした。

講義後は霊宝殿に移動し、国宝となっている仏像(毘沙門天三尊立像)や鞍馬山の自然科学などの展示を見学しました。その後は自由行動となり、奥の院に行く人や歩いて下山する方、またケーブルで下山し山門前の店の見学をされる方など様々でした。

貴船神社・鞍馬寺ともに徒歩移動が多く、特に鞍馬山は高低差もありご高齢者には足腰に負担があったと思いますが、それなりに楽しんで頂きました。

真夏の暑い中ではありましたが、時間的にもゆとりがあり、皆無事にもどって来れました。

天候にも恵まれ、予定通りの見学内容が出来たと思います。最後になりましたが、多くの参加頂いた方々に心から感謝申し上げます。

日時:平成29年7月8日(土) 8:00~18:30

集合:神戸市役所北側花時計前 解散:三宮駅東ラウンドワン前

内容:京都市左京区の国宝や重要文化財を見学

貴船総本宮 貴船神社 / 奥宮・結社・本宮

鞍馬弘教総本山 鞍馬寺 / 本殿金堂・霊宝殿・毘沙門天三尊立像

参加費:会員—6000円 ・ 非会員—7000円

参加人数:会員29名・非会員1名 合計30名



貴船神社



貴船神社



貴船神社



鞍馬寺



鞍馬寺



鞍馬寺



貴船神社 鳥居



鞍馬寺 山門

研修委員会

兵庫県建築士会神戸支部 研修委員会

平成 29 年度第 1 回法規講習会報告書

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

■ **開催日時**： 平成 29 年 6 月 1 日 (木) 13:30~16:45

■ **開催場所**： 兵庫県私学会館 302、303 号室

■ **参加者**： 64 名

■ **受講料**： 建築士会会員・事務所協会会員は 2500 円、会員外 3500 円

司会： (公社) 兵庫県建築士会神戸支部 芝崎氏

開会挨拶：(公社) 兵庫県建築士会神戸支部長 前川氏

■ **講演内容**：

①「**建築行政における最近の動きについて**」

・「**神戸市における条例改正等について**」

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課指導係長 黒川 正樹 様

・「**建築基準法等に関連する最近の動きについて**」

(建築物省エネ法、住宅宿泊事業法案等)

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課建築安全係長 松添 高次 様

—休憩—

②「**建築物等緑化計画届けにかかる緑化基準等の一部改正について**」

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課建築環境担当係長 古屋 和昭 様

③「**自転車駐車場附置義務に関する条例改正の概要**」

講師：神戸市建設局道路部計画課 自転車・駐車場利活用担当係長 畑田 典子 様

④「**消防法関係の最近の動向について**」

講師：神戸市消防局予防部建築課建築第 2 係長 穂積 満 様

閉会挨拶： (一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部長 柏本氏

研修委員会

平成 29 年 9 月 7 日
兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

平成 29 年度事業 住民によりそう復興まちづくり支援 事業報告書 ～東北、熊本震災復興支援の報告～

去る 8 月 10 日にこうべまちづくり会館において、「住民によりそう復興まちづくり支援～東北、熊本震災復興支援の報告～」講習会が執り行われました。参加者は 19 名で、講師には、まちづくりアドバイザーとして 5 年間継続して被災地である気仙沼の復興支援に関わった、浅見雅之氏を講師に迎え、東北の被災地の現況や、復興のプロセス、建築士として復興支援にかかわることの実情や苦労などをお話いただきました。

●講師…浅見雅之氏 人・まち・すまい研究所代表 神戸まちづくり研究所事務局長

●主な内容

- ・避難所運営のサポート
- ・住宅再建の相談…法律相談、各種補助、融資相談
- ・高台移転の支援…行政と住民の調整役

●日時…8 月 10 日（木）

●時間…19:00～20:45

●会場…まちづくり会館（神戸市中央区元町通 4-2-1）2 階ホール

●参加者 会員 16 名 非会員 3 名

研修委員会

平成 30 年 2 月 7 日

建築士のためのビジネスセミナー報告書

兵庫県建築士会神戸支部 研修委員会
委員長：毛利 康人
担当：安水 正

タイトル： 不動産鑑定と建築士

目的： 今後の中古住宅流通の中では、建築士によるインスペクションが重要になってくることが予想されます。不動産鑑定士については、インスペクション結果を反映した適正価格、リフォームによる復元価値、耐用年数伸長について、価格への反映が課題となってきます。今後は、中古住宅流通の活性化のためには相互の理解が重要となります。

今回は、不動産鑑定のスペシャリストである土田剛司氏をお招きし、不動産鑑定とは何か、不動産鑑定士と建築士がおこなう鑑定の違い、今後の住宅について、不動産鑑定士と建築士との協働、関わりなどについて学びます。

※ 改正宅建業法による「既存住宅状況調査技術者講習」とは、全く異なる内容です。

内容： ● 不動産鑑定とは
● 不動産鑑定の役割と問題点
● 公的価格（公示地価、相続路線価、固定資産評価額等）
● 住宅価格の問題点
● 今後の中古住宅流通について建築士と鑑定士との協働

講師： あいき不動産鑑定株式会社 代表取締役・不動産鑑定士 土田剛司 氏

場所： 神戸支部事務局

日時： 平成 30 年 1 月 26 日（金） 19:00～21:00

参加人数： 20 名（うち、スタッフ 7 名）

会費： 会員は、1,000 円。非会員は、1,500 円

当日の様子：



担当者の感想：

今回のセミナーは、「不動産鑑定と建築士」であったが、11月にメーリングリストにより募集をかけてから、すぐに反応があった。ビラを配布してからも、順調に応募があり、建築士にとって、不動産鑑定に関しては、関心の高さを感じた。

最終的に予定通りの参加人数となり、当日は、受講生は、厳寒の中、足を運んでいただき、事務局は、満員、盛況であった。内容的には、不動産鑑定とは何かから始まり、評価の方法まで、約30分程度で概略を説明された。5分程度の休憩をはさんで、鑑定評価の方法を実際の建物を例に挙げて、電卓をはじきながら、体験学習するものであった。受講生は、とても、熱心に取り組み、質疑回答も内容の濃いものであった。アンケート結果を見ると、全員が「良い」以上の評価であり、好評であった。内容が濃いだけに、時間的に短かったのでは、という意見もあった。

今年の4月から改正宅建業法が施行され、中古住宅流通が活発になると予想されています。今回の不動産鑑定の知識は、直接、建築士の業務とは関係ないものの、建築士が行うインスペクション業務の中で予備知識として必要不可欠なものと思われます。今回のセミナーをきっかけにして、中古住宅流通を見つめる良い機会であったのではと思います。

以上

研修委員会

兵庫県建築士会神戸支部 研修委員会

平成 29 年度第 2 回法規講習会報告書

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

- **開催日時**： 平成 30 年 2 月 14 日 (水) 13:30~16:30
- **開催場所**： 兵庫県私学会館 302、303 号室
- **参加者**： 53 名
- **受講料**： 建築士会会員・事務所協会会員は 2500 円、会員外 3500 円

司会： (一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部 浜田氏

開会挨拶： (一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部長 柏本氏

■ 講演内容：

① 「神戸市における建築基準法関係条例の改正等について」

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課建築安全係長 松添 高次 様

② 「建築基準法関連告示の改正について（構造関係規定）」

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課構造担当係長 平井 勝彦 様

③ 「消防法関係の最近の動向について」

講師：神戸市消防局予防部建築課建築第 2 係長 穂積 満 様

—休憩—

④ 「建築基準法等に関する最近の動きについて」

講師：神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課建築安全係長 松添 高次 様

閉会挨拶： (公社) 兵庫県建築士会神戸支部長 前川氏

■ 事務局：(公社) 兵庫県建築士会神戸支部

〒650-0026 神戸市中央区古湊通 1-2-12 古湊ビル 2 階 電話 078-599-6915 FAX078-330-8424

■担当：(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部 浜田

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会 槇本

青年委員会		事業報告シート							
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	平成29年5月12日					
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部総会 特別講演会								
開催日時	平成29年4月22日 (土) 14:30~16:30		開催場所	神戸市産業振興センター					
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい								
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会								
事業の目的	<p>広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場としたい。講師については、木の架構が非常に特徴的な作品「木の構築—工学院大学弓道場・ボクシング場」で2015年日本建築学会賞を受賞された福島加津也+富永祥子建築設計事務所から建築家・福島加津也（ふくしま・かつや）氏と建築家・富永祥子（とみなが・ひろこ）氏を招き、年齢層を問わずに集客し、会員拡大及び活動参加拡大の広報活動の場としたい。また、活躍されている講師の講演を聞くことにより、個々の意識向上につなげる事を目的とする。</p>								
主な事業内容	<p>テーマ；『工学と美学』 講 師；福島加津也氏・富永祥子氏</p> <table border="0"> <tr> <td>【講師経歴】</td> <td>【講師経歴】</td> </tr> <tr> <td>福島加津也 1968年 神奈川県生まれ 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1994~2002年 伊東豊雄建築設計事務所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、 現在 東京都市大学工学部建築学科 教授</td> <td>富永祥子 1967年 福岡県生まれ 1992年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1992~2002年 香山壽夫建築研究所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、現 在 工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授</td> </tr> </table>					【講師経歴】	【講師経歴】	福島加津也 1968年 神奈川県生まれ 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1994~2002年 伊東豊雄建築設計事務所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、 現在 東京都市大学工学部建築学科 教授	富永祥子 1967年 福岡県生まれ 1992年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1992~2002年 香山壽夫建築研究所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、現 在 工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授
【講師経歴】	【講師経歴】								
福島加津也 1968年 神奈川県生まれ 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1994~2002年 伊東豊雄建築設計事務所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、 現在 東京都市大学工学部建築学科 教授	富永祥子 1967年 福岡県生まれ 1992年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了 1992~2002年 香山壽夫建築研究所 2003年~ 福島加津也+富永祥子建築設計事務所、現 在 工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授								
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	その他	合計			
	人数	8	38	11	3	57			
建築士の関り	建築士として著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得るまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、この事業に関わってきたい。								
今後の検討課題	今回の講師については、若手の建築家を選出したが、参加人数は例年に比べやや少なく、特に学生が少なかったことが残念であった。若手であるため、実作の数が少なかったこともあるが、インターネットを中心とした広報活動が十分とは言えなかったことも要因だったように思う。昨年に引き続き改善できるようにしたい。								
連携・協力組織等	福島加津也+富永祥子建築設計事務所								
当日の様子	<p>講演は前半は福島氏、後半は富永氏のお二人で交代で行われた。前半の福島氏はこれまでの建築の考え方や取り組み、「中国木材名古屋事業所」、「工学院大学弓道場・ボクシング場」の2作品を中心として実作について語っていただき、最後は最新のプロジェクトのについて少し触れていただいた。後半の富永氏はご自身の過去の漫画家としての経歴から、それをイラストとして空間表現に生かす方法を実際の作品をもとに語っていただいた。お2人でのご講演ということで大変密度が高く、建築にとどまらない多様な内容で、非常に貴重な講演会であった。</p>								
事業担当(計画)者	高麗憲志、中村重陽(青年部会)		事業責任者	上野和彦(青年部会・部会長)					
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階					
事業担当者E-mail			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen					



青年委員会		事業報告シート				
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	平成29年7月29日		
事業名称	親子で楽しい「驚き・発見！ねんどでつくろう”夢の家”					
開催日時	平成29年7月29日（土） 13：00～17：00		開催場所	兵庫県神戸市中央区		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい					
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会					
事業の目的	小学生親子を対象とした市民向け建築スクールの一環として、ものづくりの楽しさに触れるきっかけとなることを目的に行う。「神戸市住まいの安心支援センター」の委託継続事業。					
主な事業内容	第一部では日本や世界の夢のある建物のスライド講義を通じて、住まい(家)の多様な形態について学びます。第二部では、粘土を使って子供たちが思い描く「夢の家」の工作に挑戦。最後に子供一人ひとりに夢の家博士認定証を発行します。 参加費500円(1家族あたり)					
参加者	内訳 人数	青年会員	一般会員	会員外	小学生 16	合計 16
建築士の関り	親子が一緒になってモノづくり体験で、夢の仮想の姿を現実の形として造形し、創造すること、モノを造ることの楽しさを育み体感して頂くことが出来ればと考えている。					
今後の検討課題	来年は粘土ではなく別の材料で検討する。親子に建築士や家づくりなどに興味を持っていただくようなものを考える。					
連携・協力組織等	神戸市すまいの安心支援センター					
<p>当日の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは粘土の塊に少し手を加えるだけのようだったが、家について色々な話をする中で、次第に子供さんの中でも思い付きやしたいことが出てきて、最終的には色々な思いが詰まった夢の家が完成したように思います。 ・最後に一人ひとりに作品について話してもらったが、皆、楽しそうに堂々と話してくれた事が印象的であった。 						
						
事業担当(計画)者	寺田みさと		事業責任者	寺田みさと(青年委員会会長)		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

青年委員会		事業報告シート			
事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	平成29年11月2日		
事業名称	建築視察_京都の町家を改修した住宅（法然院の家）と資料館現場				
開催日時	平成29年10月28日（土） 10:00～11:50	開催場所	京都市左京区		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい				
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会				
事業の目的	森田一弥氏設計の京町家を改修した住宅(法然院の家)を視察し、古いものと新しいものをどのように共存させているか、現在の暮らしにどのように適合されているかなどを検証する。また近隣の資料館の現場も合わせて見学することで、現場での進め方等についても合わせて学ぶ。リノベーションの需要が増えてきている昨今において、時間の痕跡を残しつつ、新しい住まれ方ができる住宅を設計しておられる森田氏に直接解説していただきながら、実際の空間を体感して考察を行う。				
主な事業内容	テーマ: 京都の町家を改修した住宅と資料館現場を視察する 講師: 森田一弥氏 【講師経歴】 1971年 愛知県生まれ 1994年 京都大学工学部建築学科 卒業 1994～1995年 アジア・ヨーロッパ・アフリカ諸国を陸路で建築行脚する 1997年 京都大学工学部建築学科 修士課程修了 1997～2001年 京都「しっくい浅原」にて左官職人として修行、金閣寺など文化財建築の修復工事にたずさわる 2000年 一級建築士事務所 森田一弥建築工房 設立(現在森田一弥建築設計事務所 代表)				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	合計
	人数	2	8	3	13
建築士の関り	京町家を改修した住宅建築を視察することで、古いものと新しいものをどのように共存させているか、現在の暮らしにどのように適合されているかなどを体感することができた。設計者の森田氏もお施主様もともにどのような質問にも誠実に回答いただけたので、具体的な疑問がかなり明らかになった。資料館の現場では、木造建築の新しい使われ方の可能性を感じるとともに環境に配慮したこれからの建築のあり方について学ぶことができた。				
今後の検討課題	当日あいにくの雨だったこともあり、移動に少し時間がかかり、当初想定していた予定の時間を越えてしまったので、もう少しゆとりをもった時間配分をとっておく方がよかった。また、事前にどのような建物であるか勉強する時間を設けられれば、より理解が深まっていいのではないかという意見があった。 参加費: 士会員500円、会員外1000円				
連携・協力組織等	森田一弥氏				
当日の様子 ・資料館現場の2階天井を支える木造架構  ・法然院の家で設計者森田一弥氏の解説を伺う。 					
事業担当(計画)者	中村重陽(青年部会・委員)		事業責任者	寺田みさと (青年委員会委員長)	
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階	
事業担当者E-mail			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen	

青年委員会		事業報告シート			
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	平成29年11月2日	
事業名称	設計実務者のための省エネ勉強会「ゴールから逆算するパッシブ設計手法」				
開催日時	平成29年11月1日（水） 13：00～17：00		開催場所	私学会館	
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいいかい				
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会				
事業の目的	近年、住宅への省エネ届出義務化など建築物への省エネ対策が強化され、世間の関心が高まる中、省エネ住宅のパッシブデザインの考え方を活かしたプランニング手法など、実務に直結する技術を学ぶ。				
主な事業内容	多くの省エネ住宅の設計を手掛け、全国で講演を行っている松尾和也氏を講師に迎え、講演を開催する。最初の1時間くらいで、どの程度の高断熱が必要なのか？日射の力が如何に強烈なのか？を学び、その後、パッシブデザインの考え方を活かしたプランニング手法、エアコンの具体的な選定手法などを講演いただく。【講師経歴】松尾和也氏 兵庫県出身 1998年九州大学工学部建築学科卒業 現在(有)松尾設計室 代表取締役 パッシブハウスジャパン理事				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	合計
	人数	2	21	12	35
建築士の関り	今日から実践できるパッシブデザイン手法などスキルアップを目指す。				
今後の検討課題	基本講座と実践講座を3時間半では時間が少なく、ギリギリまで講義をして頂いた。内容は濃いものとなったが、質疑応答の時間が取れなかった。設計実務者のためのとネーミングしたが、設計事務所の参加者が少し少ないように感じた。講義の内容をもう少しわかりやすく示した案内をすればもう少し集客可能だと感じた。 参加費：士会員3,000円、会員外4,000円				
連携・協力組織等	(有)松尾設計室 松尾和也氏				
当日の様子	<p>前半ではQ値や窓の性能などを数値化することで目指すべき断熱性能をやる事が出来た。</p> <p>後半では実際の敷地を想定し、近隣環境、等時間日影図なども配慮したうえで適切な配置計画を学ぶ。</p>  				
事業担当(計画)者	寺田みさと(青年委員会・委員長)		事業責任者	寺田 みさと (青年委員会・委員長)	
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階	
事業担当者E-mail			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen	

青年委員会		事業報告シート				
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	平成29年11月28日		
事業名称	「(仮称)神戸アイセンター病院」現場見学会					
開催日時	平成29年11月11日(土) 13:00~16:00		開催場所	兵庫県神戸市中央区港島南町		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい					
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会					
事業の目的	神戸市中央区港島に建設中の「(仮称)神戸アイセンター病院」(平成29年12月開院)の施工現場見学を主な目的とする。 眼科診療と眼科研究という用途に特化した病院建物の見学を通じ、建築士としての知識向上を図る。					
主な事業内容	テーマ:「(仮称)神戸アイセンター病院」の現場見学 【建物概要】 (1)所在地 神戸市中央区港島南町二丁目1番地の8 (2)診療科目 眼科 (3)病床数 30床 (4)施設 敷地面積約2,000m ² 延床面積約8,800m ² 建物構造 鉄骨造地上7階建 (5)開院予定 平成29年12月1日(予定)					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人数	2	3	0	0	5
建築士の関り	充実した眼科診療と眼科領域の臨床研究を行うことができる体制を整備するために、中央市民病院眼科と神戸市の外郭団体が運営する先端医療センター病院眼科が統合され、神戸アイセンター病院として新築される。 先端医療の場となる病院の現場を見学し、建築計画・設備等について見識を深めた。					
今後の検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜の開催のため、設計事務所の解説を依頼できなかった。 ・事業計画が遅く、募集期間が短くなったため、参加人数が少なくなった。 ・参加費:無料 					
連携・協力組織等	(株)明和工務店 建築・土木事業部 工事部 高田氏(現場所長)					
当日の様子 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>						
事業担当(計画)者	谷口成夫(青年部会・委員)		事業責任者	寺田みさと(青年部会・部会長)		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail			青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

企画委員会		事業報告シート		
事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	平成29年8月28日	
事業名称	富士登山登頂			
開催日時	2017年7月21日～22日	開催場所	富士山	
ふりがな	ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ きかくいいんかい			
活動団体名	兵庫県建築士会 神戸支部 企画委員会			
事業の目的	日本を知ろうシリーズ第三弾 富士山の事を語るの日本人になりたい			
主な事業内容	<p>富士登山プロジェクト：日程7月21日金曜日 22日土曜日</p> <p>21日神戸空港発<飛行機>-羽田空港 羽田集合場所(10:00発) =<富士スバルライン>=吉田ルート・富士スバルライン五合目(15:30頃)休憩・登山準備 五合目より登山開始(約3時間)…七合目山小屋(夕食カレー・仮眠2時間)</p> <p>22日(正しくは21日の夜)山小屋出発(22:30頃)…登山(約6時間)…9合目でツアー離脱 …吉田口頂上→ご来光→神社、郵便局…下山開始……(下山約3時間)…吉田ルート・ 富士スバルライン五合目 五合目発(10:00頃)=<富士スバルライン>=石和温泉(入浴・昼食)…到着しない可能性 が有ると大騒動=羽田空港(17:00頃) 羽田空港-<飛行機>-神戸空港 解散</p>			
事業収支	収入			
	支出			
	計	±0(備考)		
参加者内訳	内訳	企画委員会会員	一般会員	その他
	人数	2		3
合計				5
参加者	1 湖亀 4 池田 2 川端 5 荒川 3 上垣			
感想	一度は登りたいと思っていた富士山登頂により、また一つ夢の実現ができました。心配していた天候にも恵まれ、時間によって移り行く景色は本当に美しかったです。このような機会と仲間に恵まれたことに心より感謝申し上げます。			
	参加費：実費精算			
事業担当(計画)者	荒川直樹		事業責任者	前川支部長
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12古湊ビル2F
事業担当者E-mail			連絡先	078-599-6915

企画委員会		事業報告シート				
事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	平成30年3月11日			
事業名称	アーキツリズム 近江八幡					
開催日時	平成30年2月24日(土)	開催場所	滋賀県近江八幡			
ふりがな	(しゃ)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ きかくいいんかい					
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 企画委員会					
事業の目的	建築物(地域)の見学を通じて、建築士としての意識向上、会員交流をはかる。					
主な事業内容	滋賀県近江八幡の施設を見学をする。 ・ラコリーナ(建築家 藤森照信氏による 屋根一面が芝におおわれたユニークなデザインと栗の木が印象的な建物)にて、ラコリーナツアーに参加 建築家藤森照信氏のスケッチやメインショップの模型などを展示する藤森ミュージアムや 普段は入れない、銅屋根の本社最上階の展望台などを見学 ・かわらミュージアム(八幡瓦に関する資料を展示) かわらミュージアムの館長に説明していただきながら、施設を見学 ・近江八幡町並み散策					
事業予算収支	収入	参加費:士会員5,000円、会員外6,500円				
	支出					
	計	±0(備考)				
参加予定者	内訳	企画委員	一般会員	会員外	その他	合計
	人数	6	14	2	0	22
建築士の関り						
検討課題	参加者の申し込み人数の確認					
連携・協力組織等						
						
事業担当(計画)者	野口 直人		事業責任者	荒川 直樹		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail						